

TAC合格者 アンケート

2018年度宅地建物取引士試験TAC合格者へのアンケートを実施しました。今後の勉強にお役立てください。

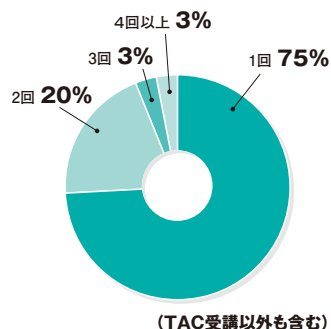
アンケート 対象者

2018年度宅地建物取引士試験合格者のうち、TAC宅地建物取引士講座の「本科生」

※アンケートの数値は一部を除いて小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がございます。

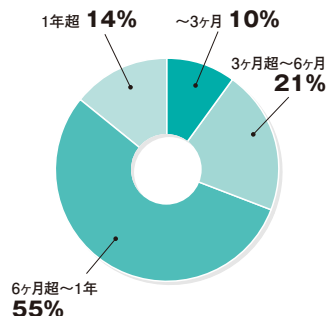
合格までの 受験回数

約95%の方が2回以内で合格をつかみ取っています。近年の本試験難化傾向を反映してか、4回以上受験された方もいらっしゃいましたが、そのような方でもTACで受講して一発合格を果たした方が多く見られました。



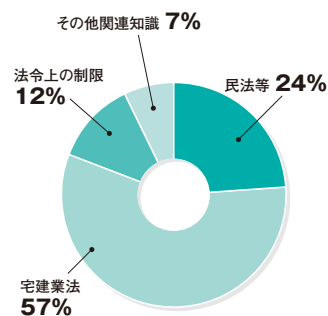
TACでの 学習期間

約86%の方が1年以内で合格をつかみ取っています。TACでは、宅建士試験に合格するためにポイントを絞った講義と学習開始の時期に応じた問題演習を組み合わせる「無駄なことをせずに」短期合格を可能にするカリキュラムで合格を目指します。



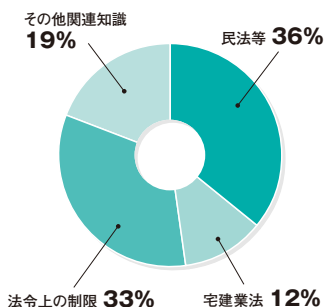
得意科目

合格者のうち約6割の方が配点割合が最も多い「宅建業法」を得意科目としています。合格するためには配点割合の多い科目を攻略することは当然のこととも言えますが、学習のしやすさや得点のしやすさも要因といえるでしょう。



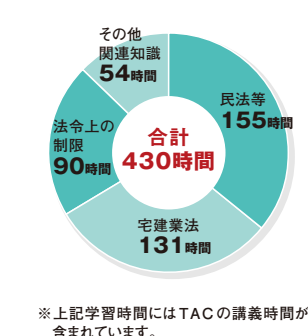
不得意科目

近年多少難化傾向にあると言われる「民法等」や、普段あまりなじみのない「法令上の制限」を不得意とされる方が多くなりました。不得意科目はできるだけなくすように努力していきましょう。



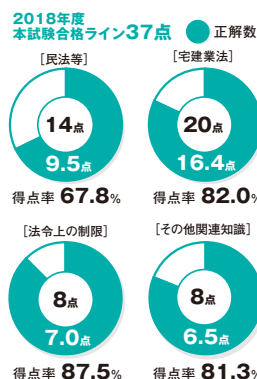
科目別 平均学習時間

理解するのに時間を要する「民法等」や、暗記する項目の多い「宅建業法」、次いで「法令上の制限」に時間を割いているようです。以前は200～250時間程度で合格できると言われておりました。しかし、ここ数年の試験の難化傾向を反映して、平均学習時間は2倍近くも増加傾向となっています。



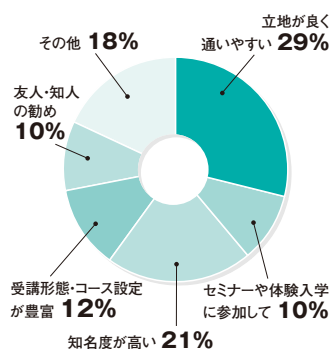
本試験での得点 (合格者平均)

科目別にみると、「学習時間に比例して得点が伸びる」ということが必ずしも言えないようです。「民法等」より学習時間が少ないにもかかわらず、配点も得点率も高い「宅建業法」が攻略のカギと言えるでしょう。限られた時間の中で効率良く得点するためには、科目の特性を考慮し、時間をかけすぎたり、学習時間が確保できなくなったりしないようにバランス良く学習する必要があります。



TACを選んだ 決め手

忙しく限られた時間の中で、通学の便利さ・学習環境や立地の良さは非常に大切です。また、お客様の置かれた様々な状況に合った豊富なコースや受講形態にもご好評いただいています。TACは引き続き皆様にお選びいただけるような講座をご提供できるよう邁進してまいります。



TACの 良かったところ

熱心・親切・丁寧でわかりやすい講義や、本試験を徹底的に分析した使いやすい良質なオリジナル教材は、TACが最も力を入れているコンテンツです。受験指導校に最も求められている部分ともいえるのではないのでしょうか。

